

(一般質問)

質問日	令和6年6月5日(水)			質問方式	分割方式		
質問順位	1	会派名	市民クラブ	議席番号	10	氏名	大城 七瀬
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 医療的ケア児等への支援について	本年4月に医療的ケア児等相談支援センターが開設された。本市としては、新しい取組として期待できる。しかし、まだ問題は山積みである。 そこで、以下伺う。 (1) 災害時において、医療的ケア児が避難所で問題なく過ごせるように体制を整えていくべきと考える。医療的ケア児の居場所を平時よりきちんと把握し、災害時においても、自宅で療養している状況と同様の支援が継続できるよう、当事者参加型の災害訓練を行うべきだと考えるが伺う。 (2) 医療的ケア児を取り巻く環境は様々である。その中で医療的ケア児に加えて、きょうだい児がいる場合は保護者の負担が更に大きくなる。そのため、保護者へ支援に関する情報についての周知・啓発をしていくべきと考えるが伺う。 (3) 災害時には、保健医療福祉に関する情報連携が求められており、特に避難所等で活動する保健医療福祉活動チームとの連携は重要と考えられる。本市の医療救護計画では保健医療活動拠点が設置されることになっているが、保健医療福祉活動拠点にするべきと考えるが伺う。						小松健康福祉部長 〃 平野医療担当部長
2 市政を身近にする参加型予算編成について	市政をより身近に感じてもらうために、市民が予算編成に関与してその意思を反映させる「参加型予算編成」という仕組みがある。これは市民提案の事業に対し、市民が投票して次年度の予算案を決めることが出来る方法で、外国人や18歳以下の若者たちも参加できることから、浜松市民全体の市政に対する意識を高めていくことが出来るのではと考える。 そこで、市が募集するテーマに基づいて、市民から事業の提案をしていただき、その中から市民による投票によって次年度の予算案に反映する事業案を決めることが出来る参加型予算編成を本市にも取り入れるべきだと考えるが伺う。						鈴木財務部長
3 公園のトイレについて	子育て世代の方の声を聞くと、必ず出てくるのが公園のトイレについての話題である。現在、公園管理事務所所管の公園は市内に661か所ある。トイレが設置してある公園293か所のうち、和式トイレのみの公園が170か所もある。公園利用者からは「使いづらい」「子どもが入れない」等の声がたくさんあるのが現状である。公園は						中村花みどり 担当部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	幼児の遊び場だけでなく、保護者同士のコミュニケーションの場でもある。しかし、妊婦や高齢者など、和式トイレを使用できない人もいる。トイレの改修には時間も費用も要するが、市民のためにも早急なトイレ改修を願うが伺う。	
4 学校における生理用品のあり方について	昨年9月の一般質問で、学校における生理用品の設置について伺ったが、市立小・中学校では生理用品をトイレに常設はせず保健室にて配付し、児童・生徒が様々な悩みを教員に話すことで、学校は児童・生徒の健康状態を把握し、適切な支援ときめ細かな指導へつなげることが出来る、との答弁だった。 そこで、以下伺う。 (1) 小・中学校での保健室における生理用品の配付状況について伺う。 (2) 児童・生徒が生理について正しい知識を身に付けるためには、生理用品に関するトイレでのポスターの掲示や機会を捉えた指導など、様々なアプローチが必要であると考ええる。児童・生徒への周知や指導の現状について伺う。 (3) 学校の主役はあくまでも児童・生徒である。生理用品のトイレへの設置等について、先生だけの意見ではなく、児童・生徒にアンケートをとって子ども達の意見や思いを把握するべきだと考えるが伺う。	奥家学校教育部長
5 浜松シティマラソンについて	昨年度20回目を迎えて、全種目で総勢7000名を超えるランナーが参加した浜松シティマラソンについて、以下伺う。 (1) 今年度、浜松シティマラソンあり方検討業務に638万9000円の予算がついている。市民の意見を反映して検討していくことを期待するが、現時点での状況を伺う。 (2) 今後、インクルーシブの視点を取り入れていくには、多様な参加者を受け入れていく形に変えていかなければならない。 そこで、車いすマラソンの視点も取り入れていくべきと考えるが伺う。	杉田スポーツ振興担当部長
6 駅南地区の大学と地域との地学連携におけるまちづくりについて	駅南地区には浜松工科自動車大学校があり、今後は浜松調理菓子専門学校、常葉大学の設置予定がある。大学が出来ることで、多くの若者が行き来し、地域経済の活性化や街の賑わいの創出が期待できる。また、大学の持つ資源を生かし、地域防災の強化、地域の課題をともに考えていく役割も担うと考える。そこで、駅から学校までの道を学生が安全・安心に歩けるように、道路拡幅やインターロッキング等による舗装をするほか、フラッグ	石坂企画調整部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	等を飾るなど、学生の街という雰囲気を醸し出してはと考える。 そこで、本市として駅南地区の大学生など若者を含めた地学連携をとり、駅南地区のまちづくりをすべきと考えるが伺う。	
7 大橋ピアノ資料 収蔵等について	11年前の平成25年の代表質問でもあったが、本市には様々な方面から高い評価を受けている大橋ピアノに関する資料がある。浜松市博物館では歴史資料という観点から一連の資料群を収蔵しているが、本館の収蔵庫が満杯のため、その収蔵は一部にとどまり、一括した保管が出来ていない。 そこで、以下伺う。 (1) 11年前は各館が連携した収蔵計画を検討し、良好な収蔵環境を確保してまいりたいと考えている、との答弁だったが、現状はどうか伺う。 (2) 創造都市を目指す浜松にとって大橋ピアノ関係資料は欠かせないものとする。もっと幅広く市民や市外の方にも周知をすべきと考えるが伺う。	嶋野文化振興 担当部長